

# ベルスター ブロッコリー

- ①花蕾と茎部のボリューム感が抜群!市場評価がとても高い中晩生品種。
- ②花蕾は凹凸の発生が少なく、非常に美しいハイドームとなる。
- ③耐寒性が強く、関東以西の温暖地の12月~1月どりに最適。



## 青果物の品質向上で競合産地との差別化を図る!

### 年々増える作付面積と激化する産地間の競合

ブロッコリーは近年、急激に作付面積が増加しています。2005年の全国作付面積は10,700haでしたが、5年後の2010年には13,400haになっています(参考:農林水産省野菜生産出荷統計)。現在も他品目からの作物転換で産地が全国的に拡大しており、産地間の販売競争がますます激しくなると見られています。



### 茎が太く、ボリュームのある「ベルスター」が注目されています



「ベルスター」



他社品種

「ベルスター」は花蕾、茎部ともに高品質で大人気です。

ブロッコリーは茎部も食材として利用することができます。クセがなく、甘みがあるので消費者にたいへん人気があります。ブロッコリーの先進産地である徳島県や香川県では茎部が太く、ボリュームのある品種を導入し、出荷先の市場で優位販売をする動きがみられています。「ベルスター」は凹凸が少なく、花蕾の形状が優れているだけでなく、従来品種に比べ、茎部がひと回り太いのが特徴です。また、収穫物全体のボリューム感が抜群な「ベルスター」は、ご試作いただいた産地から大きな注目を浴びています。

### 栽培のポイント



出蕾の揃いも良い、ボリューム満点の「ベルスター」

品質の高い花蕾を収穫するために必要な本葉の総枚数は17~18枚です。生育状況に応じた施肥管理を行い、適正な草勢を保ちます。元肥は10aあたり15kg(窒素成分量)を標準とし、1ヶ月おきに追肥を行います。

1回あたりの追肥量の目安は2~3kg(窒素成分量)としますが、生育状況や追肥時の温度、土壌水分に応じて加減して下さい。「ベルスター」は異常花蕾や茎部の空洞の発生が少ない品種ですが、多肥栽培では茎部が太くなりすぎてしまいます。草勢が強くなりすぎた場合は追肥を控えたり、遅らせる事で草勢をコントロールします。逆に肥料の効きが悪いときは追肥回数を増やしたり、液肥を散布するとよいでしょう。